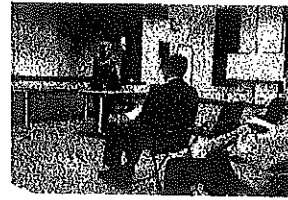


# きずな

発行 大善寺  
校区老人  
クラブ  
連合会



## コロナ禍をこえて 新年度は前より 一層活発に！

令和五年度は数年ぶりに元に戻り活動が予定される年になったと思ふ。

二〇二三年コロナ禍で不十分な活動しか出来ず歯がゆい年を過ごしてきた。

でもやっと五月八日から、コロナ禍から抜け出し、インフルエンザと同じ第五類扱いとなった。

コロナ時の教訓を活かしつつも、それまでの活動に戻る年になったと自覚する。

今年度の活動は

文化活動(研修、友愛大会等)・体育活動(ペタンク・ゴルフ等)共に予定することにした。  
内こもりを脱却し、外に向ってお互いの絆を深め合うことだ。  
そして会員の減少に歯止めをかけ増やしていくことに力をつくそう。単老・校区の前進に全力をあげよう。

校区会長

堤 英生

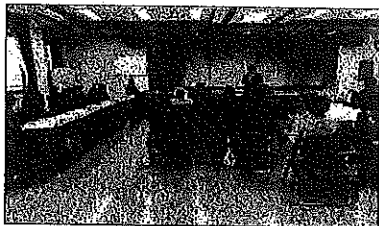
## 令和5年度 校区総会 開催

開催



総会風景 2023.4.17

大善寺校区老人クラブは四月十七日、令和四年度決算及び五年度予算・提案事項を代議員の出席のもと審議し承認を得ました。五年度の主な事業は次のとおりです。  
一、教養・健康づくり  
友愛大会  
ペタンク・ゴルフラウンド  
ゴルフ・ダーツ大会  
サロンの集い  
(カラオケ)  
二、生きがいづくり  
役員及び会員研修旅行



総会来賓挨拶 2023.4.17

・学童との体験学習  
(ジャガイモ・自転  
車乗り・昔の暮らし  
体験)  
三、社会奉仕  
子ども見守り活動  
各地域の清掃活動  
校区防犯・暴走運動  
参加  
・大善寺祭り参加  
(出店予定)  
・上部団体の募金活動  
四、広報活動  
・校区広報紙  
(きずな)発刊  
・交通安全等のチラシ  
・市老連等上部団体の  
広報紙配布  
五、役員会  
・校区及びびいこの家  
役員会  
・拡大役員会・上部団  
体役員会

## 認知症って何だろう！？

市長寿支援課主催の認知症に関する講座が市シティープラザで2月27日おこなわれました。この講座で配布された資料の中から一部抜粋して報告します。

認知症とは、「いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり、生活するうえで支障がおよそ6カ月以上継続している状態」のことです。認知症には様々な種類があります。下記に列挙します。

認知症	変性性認知症			脳血管性認知症 (VaD)
	アルツハイマー型 (AD)	レビー小体型 (DLB)	前頭側頭型 (FTD)	
主な障害部位と主な機能	脳皮質 (記憶の統合、認知機能)  脳幹 (記憶、学習、言語)	後頭葉 (視覚)  脳幹	前頭葉 (人格、社会性、言語)  側頭葉	様々な部位に起こるが 前頭葉の障害が多い

中高健二 他:認知症ハンドブック, 佐々木啓, 2013年発行

## アルツハイマー型認知症

特徴: ゆっくり進行していきます。記憶障害が著しく、特に最近の記憶(短期記憶)が不得意になります。

## レビー小体型認知症

特徴: レビー小体というたんぱくが大脳皮質に蓄積されて発症します。筋肉のこわばりや手のふるえ、歩行障害が特徴です。

## 前頭側頭型認知症(ピック病)

特徴: 物忘れの症状は軽く、我慢したり、人を思いやるのが難しくなるなど「人格変化」が起こる認知症です。

## 脳血管性認知症

特徴: 脳梗塞や脳出血などによって脳が障害を受けた部位の症状が現れます。脳血管障害のたびに階段状に進行します。

出典、知っておきたい脳の健康  
久留米市認知支援ガイドブック